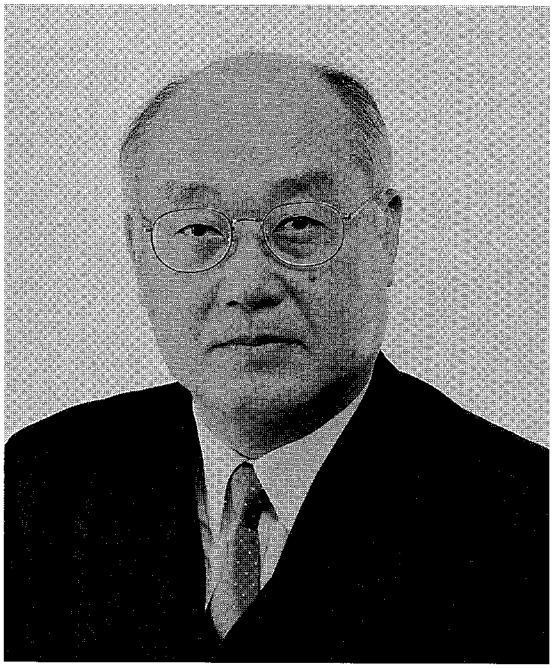
HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	略歴
Citation	經濟學研究, 48(4)
Issue Date	1999-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/32136
Type	bulletin (article)
File Information	48(4)_Pi-ii.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP



白井孝昌教授　近影

略　歴

本 籍 地　香川県高松市扇町１丁目49番地

生年月日　昭和10年５月24日

誕 生 地　朝鮮慶尚南道釜山府草梁町

現 住 所　北海道札幌市北区太平２条４丁目５―12

学　歴

昭和29年３月　山口県立萩高等学校卒業

昭和29年４月　香川大学経済学部入学

昭和33年３月　同学部卒業

昭和34年４月　大阪大学大学院経済学研究科修士課程入学

昭和36年３月　同課程修了

昭和36年４月　同研究科博士課程進学

昭和37年10月　同課程退学

職　歴

昭和37年11月　大阪大学経済学部助手採用

昭和42年６月　同学部講師昇任

昭和45年３月　同学部講師退職

昭和45年４月　松山商科大学経済学部助教授採用

昭和47年３月　同学部助教授退職

昭和47年４月　北海道大学経済学部助教授採用

昭和55年７月　同学部教授昇任

昭和58年４月　大阪大学社会経済研究所教授を兼任する

昭和59年３月　同研究所教授の任を解かれる

その他の経歴

昭和37年９月　理論・計量経済学会会員，今日に至る

昭和42年９月　Royal Economic Society会員（終身会員）

昭和49年３月　アメリカ合衆国国務省の招聘により，１ヶ月半同国各地を視察旅行

昭和50年８月　フルブライト客員研究員として１年間イエール大学経済学部にてジェームズ・トービン教授の指導のもとに貨幣理論の研究に従事する

昭和53年８月　American Council of Learned Societies客員研究員として１年間シカゴ大学経済学部にてジョージ・スティグラー教授の指導のもとに経済学史の研究に従事するとともに，ロバート・ルーカス教授の主催する貨幣・銀行論ワークショップに参加する

昭和55年１月　アメリカ研究札幌クールセミナー事務局の一員として同年および翌年の８月に行われた２回の国際学会の企画・事務処理に参画，昭和56年のセミナーについては事務局長を勤める

平成２年１月　理論・計量経済学会理事に就任，２期（６年間）勤める

平成２年３月　６ヶ月間ロンドンに滞在，ロンドン・スクール・オブ・エコノミックスの図書館のアーカイブで，主として，エドウィン・キャナン文庫によってイギリス古典派および新古典派の学説史に関する調査を行う

平成２年８月　ケンブリッジ大学ニューナム・カレッジに滞在し，アルフレッド・マーシャル『経済学原理』刊行100周年記念コンファレンスに参加する

平成３年１月　理論・計量経済学会1991年大会運営委員会委員長に就任，同年９月の大会の企画・運営を主宰する

平成４年１月　理論・計量経済学会1992年大会運営委員会委員として，1992年大会の企画・運営に参与するとともに，そのパネルディスカッション「日本経済とマクロ経済学の進路」の企画を立て，その座長を勤める

平成４年１月　北海道大学評議員を１期（２年間）勤める